

巻 頭 言

富山大学ベンチャービジネスラボラトリー長
升方 勝己

地域の活性化が政府の重要課題として取り上げられる中、地域の知の拠点としての地方大学に課せられる役割が益々高まっています。富山大学ベンチャービジネスラボラトリーは、大学における新産業創生の拠点として、新産業の創生につながる研究シーズの創出と、学生のベンチャーマインドの育成、大学発ベンチャー支援を3本柱として活動を行っております。研究シーズ創出を目的として平成19年度は22件のプロジェクト研究を実施しており、着実な成果が得られております。一方、ベンチャーマインド育成事業として、大学院理工学教育部修士課程にベンチャービジネス論、富山大学MOT講座を開講すると共に、ビジネスプランコンテストにより学生のベンチャー意識の高揚を図っております。更に、富山大学工学部敷地内に設置されました富山市新産業支援施設と連携してベンチャー創出に関する各種セミナーの実施、大学発ベンチャーのインキュベーションの場としての同施設の活用など、ベンチャー育成事業の支援を行っております。本小冊子は、当VBLの平成19年度の活動を取りまとめたものであります。是非、ご一読いただき、富山大学VBLの活動をご理解の上、ご高配賜りますようお願いいたします。



地域の産業界、高等教育機関、地方自治体、金融機関の産学官金が一体となった地域イノベーションの創出への取り組みが求められております。富山大学は地域の知の拠点として産学官金連携の中心的役割が求められるところであり、これに対応するための組織改変を進めております。現在、富山大学の産学連携組織として地域共同研究センター、知的財産本部・富山大学TLO、ベンチャービジネスラボラトリーが独自の事業を展開しておりますが、平成20年度中にこれらの統合を図り、大学の産学連携機能の一層の強化を図る事を目指しております。これらの統合により、現在実施しておりますVBLのプロジェクト研究を、地域共同研究センターのプロジェクト研究、技術研究会活動と有機的に結合し、大学として地域イノベーションに資する研究シーズを提供する体制を構築したいと考えております。また、産業界、金融機関と連携して創出された研究シーズを新産業に結びつける体制を構築したいと考えておりますので、皆様の益々のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。